



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

輪島高校長、生徒や被災者を勇気づけるブログ「おこらいえ」* ～毎日更新、ユーモア交え生徒のみなさんにメッセージ～

県立輪島高校の平野 敏校長先生は、能登半島地震の発生直後から同校ホームページの校長ブログを更新し続けており、ユーモアを交えた温かみのあるメッセージは、多くの方々に勇気づけていると同時に、私たちにとっても大切なこと教えてくれます。長田中の生徒のみなさんにも読んでほしいので、一部を紹介します。

※「おこらいえ」輪島市海士町伝わる言葉、驚きや感謝を伝えるときや、相手を元気づけるときに使われる。

「小走りの思いやり」

〔投稿日時：02/08 39日目〕

昔、阿久悠さんのエッセイで、「小走りの思いやり」みたいなのを讀んだ覚えがあります。うる覚えですが、横断歩道の手前で車が止まってくれる、歩行者優先だから当然であるが、止まってくれた車に軽く会釈する。そしてほんの2、3歩でいいから小走りして見せる。それが自分も急いでいるのに止まってくれた運転者への心遣いであり、それが日本人の心だ。みたいな内容だったと記憶しています。

1ヶ月の避難所運営の中で、たくさんの日本人

の心を見せていただきました。狭い通路で譲り合ったり、誰が始めるともなくトイレ掃除、ゴミの分別や収集など、おかげでみなさん快適に過ごすことができました。近隣の高校では、避難所でもないのにガラスを割って忍び込んだり、自動販売機を壊して中身を奪ったり、勝手に校長室に入り込んで備品を使ったりと信じられない現状が見られたようですが、おかげさまで輪島高校では、そのようなことは一切見られませんでした。みなさんの日本人の心に感謝です。

・・・(略)・・・



「ならぬものはならぬのです」

〔投稿日時：02/12 43日目〕

いよいよ明日から新学期が始まります。学校への登校、文教会館への登校、オンラインでの参加、いずれの方法でも出席になります。登校する場合は制服でなくてもかまいません。先生方も洗濯がままならないのでスーツは着ません。できることから一歩ずつはじめていきましょう。

ひとつ注意したいことは、制服以外は全て従来どおりの校則に従うこと。どうせしばらく登校しないのだからとピアスを開けた生徒や髪を染めた生徒はまさかいないと思います。「どうしてピアスはいけないのですか？」震災以前から質問されることはあります。

ならぬものはならぬのです。

白虎隊で知られる会津藩の侍(じゅう)の掟を締めくくる言葉です。人が答えられないような質問をして、さも論破したように振る舞う人もいますが、校則のひとつひとつに「なぜだめか？」を問い詰めていくと、むしろ明確な答えのあるものはなひとつありません。「なぜ人を殺してはいけないか」という問いも同じです。答える必要のない問いであるし、答えてはいけない問いであるし、そもそも問いになっていないのです。

大切なのは、学校はルールを厳密に守ることの

大切さを学ぶ場であるということ。「ならぬものはならぬ」自分で自分の心に歯止めをかける方法を学ぶ場であるということ。自分の教員生活を振り返ると、ならぬものはならぬものを教えきれなかったばかりに、かわいそうな思いをさせた生徒が何人もいます。あのとききちんと導いてあげられたら、学校はルールを厳密に守ることを学ぶ場であると同時に、ルールは変えることができるということを学ぶ場でもあります。昨年もケータイのルールを自分たちで変えることができましたよね。納得のいかないルールがあったら、まず自分たちで変える努力をしてみる。それすらできないものが自分だけの都合でルールを破るな。「どうして髪を染めてはいけないのですか？」この問いも同じ。

でも、みなさんは今、世界中の方から多くの支援をいただいていることを忘れないで下さい。もし自分が支援をする立場だったとしたら、「髪を金髪にするお金があるんだったらもう食費なんかも必要ないですよ」と即刻支援を打ち切ります。どうか生徒のみなさん、避難民だから多少のルール破りは許してもらえ、もしそんな甘ったれた心を持っていたなら、新学期開始とともに捨て去りましょう。・・・(略)・・・

※全文は輪島高校のHPから閲覧できます。←こちらをクリック